



特 長

1 省資材化、経済性が向上

標準タイプのテールアルメの長所はそのままに、省資材化、経済性がさらに向上しました。

2 高い安定性と追随性

数多くの実績・経験を重ね、高い安定性・追随性が確立された十字形スキンを使用します。

3 部材使用量を適正化

作用力の少ない壁上部のストリップをより合理化し、部材使用量が適正化されました。

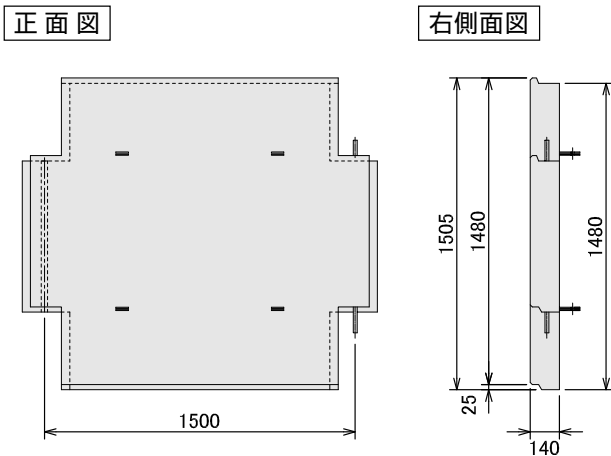
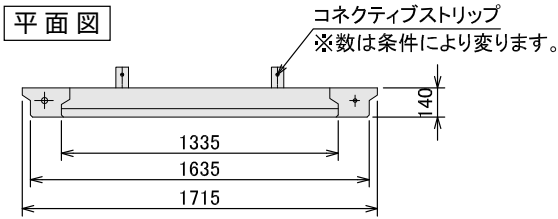
4 幅広ストリップを採用

A3は壁面の安定性・追随性に配慮したトライアングル配置で、摩擦抵抗力を1.3倍に上げた幅広ストリップを使用します。

5 全体の補強材長を短縮

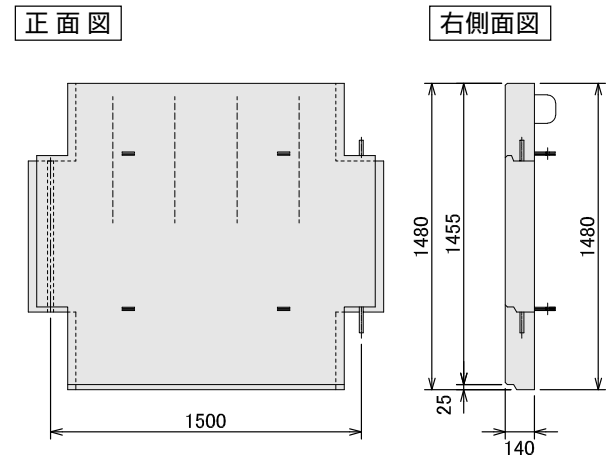
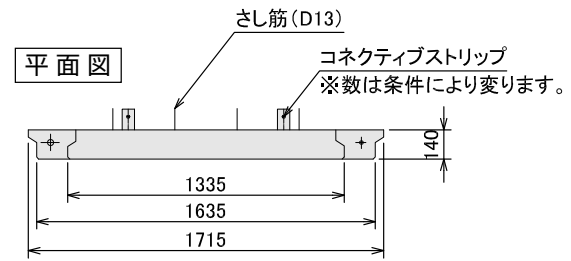
高強度ストリップ（幅60mm）を巧みに使い分け、全体の補強材長の短縮を実現しました。

形状・寸法図 標準用 (Aタイプ)



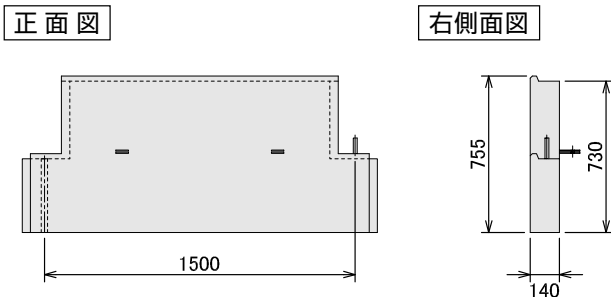
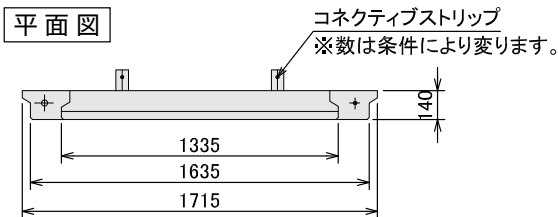
※左 (AL) 右 (AR) 端部用もごさいます。 参考重量 : 909kg

天端用 (Bタイプ)



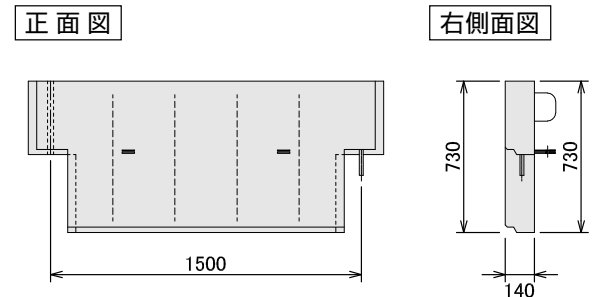
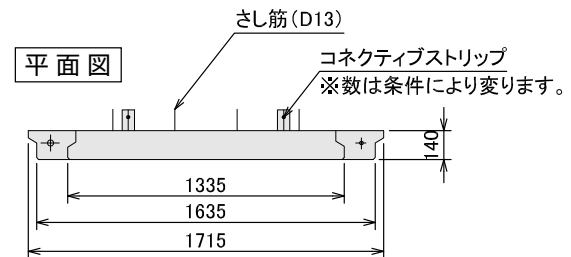
※左 (BL) 右 (BR) 端部用もごさいます。 参考重量 : 897kg

最下段用 (Cタイプ)



※左 (CL) 右 (CR) 端部用もごさいます。 参考重量 : 455kg

天端用 (Dタイプ)



※左 (DL) 右 (DR) 端部用もごさいます。 参考重量 : 442kg

河川・
護岸製品

擁壁類

道路製品類

横断溝類

側溝・
境界ブロック類

高速道路用
製品類

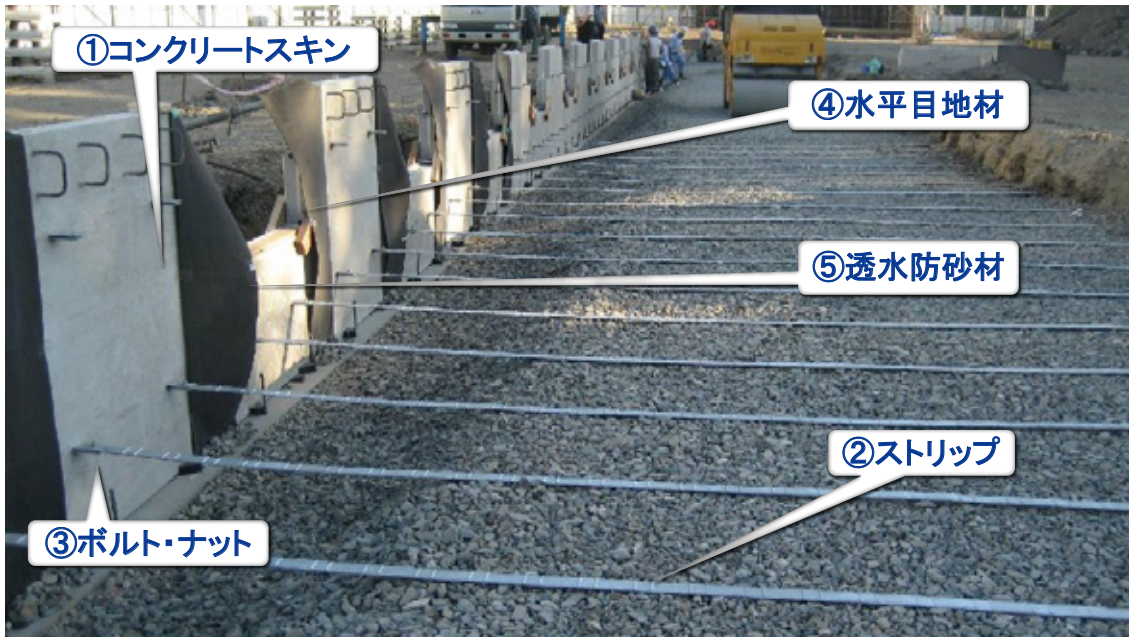
大型水路類

管渠類

その他

テールアルメ

主要部材



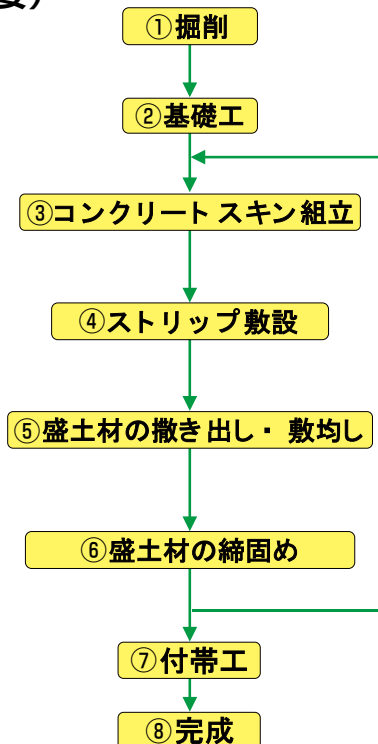
【②ストリップ】

| SM490A仕様 | SS400 幅広仕様 |
|--|---|
| | |
| 規格: SM490A(黒皮・亜鉛めっきHDZ50) 形状: 80×4.0×L 許容引張応力度: $\sigma_{sa}=185\text{N/mm}^2$ 重量: 2.02kg/m | 規格: SS400(黒皮・亜鉛めっきHDZ50) 形状: 80×4.0×L 許容引張応力度: $\sigma_{sa}=140\text{N/mm}^2$ 重量: 2.69kg/m |
| | |

【副資材】

| ③ボルト・ナット | ④水平目地材 | ⑤透水防砂材 |
|--|--|---|
| | | |
| 規格: M12×40 六角ボルト8.8 許容せん断応力度: 200N/mm ² | 形状: 85×800×20 材質: 高密度ポリエチレン 重量: 572g | 形状: 420×4.0×L 材質: 長繊維不織布 重量: 186g/m |
| | | |

施工手順(概要)



①掘削状況



③スキンの組立て



④ストリップの敷設状況



⑤撒きだし状況



⑥締固め状況

テールアルメFS

フェイルセーフ (Fail Safe) 機能を付与し、
さらに壁内部の不具合を『見える化』した
維持管理型テールアルメ

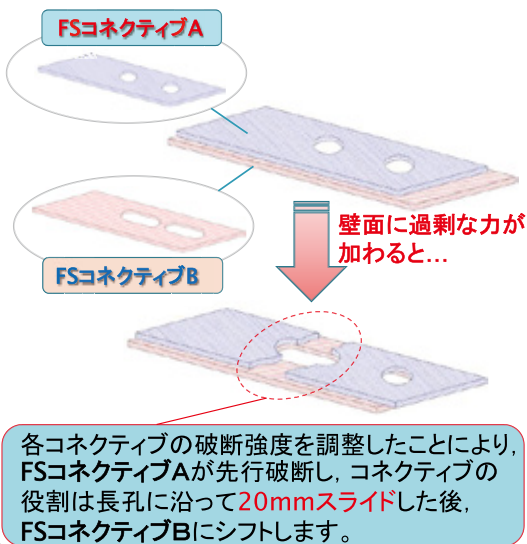
フェイルセーフ機能の付与とは

着目する部材等の機能が喪失した場合に、平常時には機能していない別に設けられた部材が機能することで、全体に致命的な影響が生じることを回避するようになっているものである。(道路橋示方書・同解説 I 共通編 1.6.2 構造設計上の配慮事項 より)

【新開発】FSコネクティブ

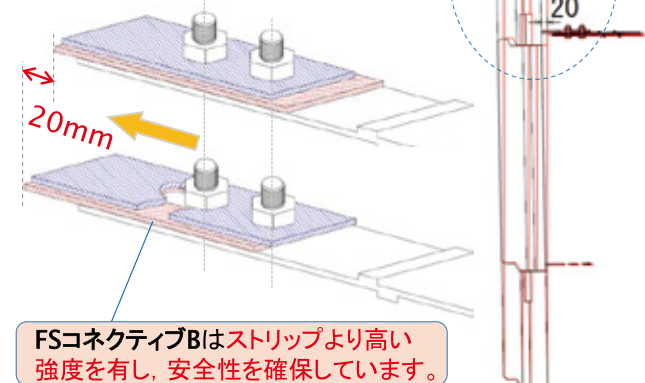
特許第5899358号

安全性を維持するFail Safe機能



内部異常を可視化するFail Sensor機能

FSコネクティブBにコネクティブ機能が20mmスライドしながらシフトすると、壁面が機能的に傾き、不具合を外観で目視化します。



FS機能で安全性を確保したまま調査、対策検討、措置が可能



※イメージ写真

主な特徴

- ① FS機能により突然の崩壊を防止
- ② 点検手法である目視確認に特化
- ③ 変状サインにより視認性向上

維持管理を追及した
新しいテールアルメをご提案します

河川・
護岸製品

擁壁類

道路製品類

横断溝類

側溝・
境界ブロック類

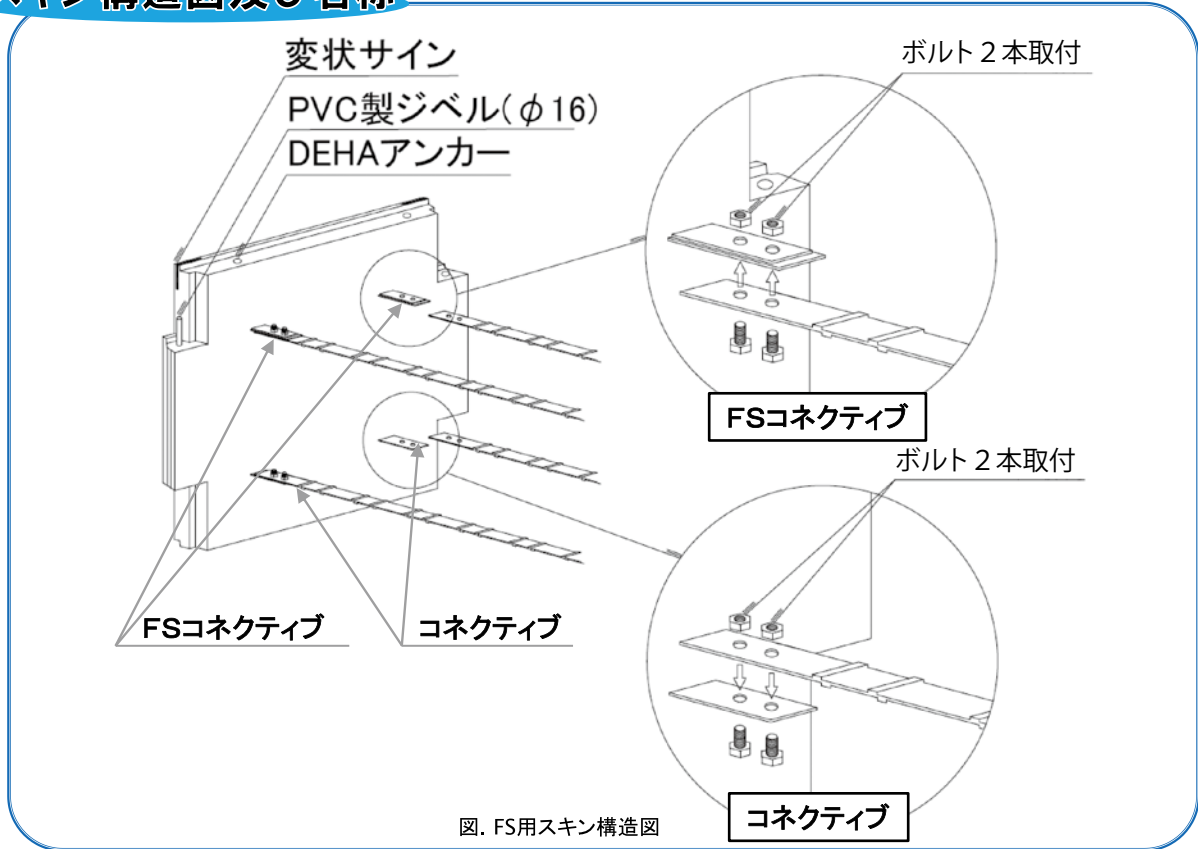
高速道路用
製品類

大型水路類

管渠類

その他

スキン構造図及び名称



フェイルセーフ機能

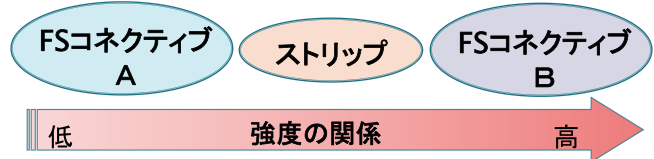
Case1. 地震をはじめとする過緊張が発生した場合

【ボルト孔欠損部分の耐力】

FSコネクティブA※: 31,080N

FSコネクティブB※: 37,800N

SMストリップ※ : 33,300N



Case2. 経年劣化の場合

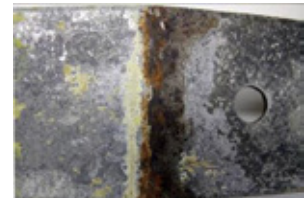
調査では...コネクティブの付根の上面の腐食が激しい
(ただし、腐食しろの決定根拠の想定範囲内)

【コネクティブのボルト孔欠損部分の耐力(腐食1mm時)】

FSコネクティブA※: 25,900N

FSコネクティブB※: 31,500N

腐食時においても
FSコネクティブAが
先行破断する



※【部材寸法】 FSコネクティブA : PL6.0×43×384 (SM490A)
FSコネクティブB : PL6.0×60×399 (SS400)
SMストリップ : PL4.0×60 (SM490A)

土中環境による鋼材の腐食速度の違い
や鋼材の規格強さの範囲などにより、
破断順が異なることがあります。